



ガイドライン対照表

環境省発行の「環境報告ガイドライン2012年版」との対照表を掲載します。

記載する情報・指標	記載ページ
基本的事項	
1. 報告にあたっての基本的要件	
(1) 対象組織の範囲・対象期間	1
(2) 対象範囲の捕捉率と対象期間の差異	1
(3) 報告方針	1
(4) 公表媒体の方針等	1
2. 経営責任者の緒言	2
3. 環境報告の概要	
(1) 環境配慮経営等の概要	3
(2) KPIの時系列一覧	12、16
(3) 個別の環境課題に関する対応総括	12、15
4. マテリアルバランス	15
環境マネジメント等の環境配慮経営に関する状況	
1. 環境配慮の方針、ビジョン及び事業戦略等	
(1) 環境配慮の方針	9
(2) 重要な課題、ビジョン及び事業戦略等	9
2. 組織体制及びガバナンスの状況	
(1) 環境配慮経営の組織体制等	10、11、14
(2) 環境リスクマネジメント体制	26、27
(3) 環境に関する規制等の遵守状況	19～21
3. ステークホルダーへの対応の状況	
(1) ステークホルダーへの対応	23～25
(2) 環境に関する社会貢献活動等	23～25
4. バリューチェーンにおける環境配慮等の取組状況	
(1) バリューチェーンにおける環境配慮の取組方針、戦略等	—
(2) グリーン購入・調達	17
(3) 環境負荷低減に資する製品・サービス等	4、5、13
(4) 環境関連の新技术・研究開発	4～8、13
(5) 環境に配慮した輸送	17
(6) 環境に配慮した資源・不動産開発／投資等	—
(7) 環境に配慮した廃棄物処理／リサイクル	17、20、21

記載する情報・指標	記載ページ
事業活動に伴う環境負荷及び環境配慮等の取組に関する状況	
1. 資源・エネルギーの投入状況	
(1) 総エネルギー投入量及びその低減対策	15～17
(2) 総物質投入量及びその低減対策	15～17
(3) 水資源投入量及びその低減対策	15～17
2. 資源等の循環的利用の状況	15～17
3. 生産物・環境負荷の産出・排出等の状況	
(1) 総製品生産量又は総商品販売量等	—
(2) 温室効果ガスの排出量及びその低減対策	15～17
(3) 総排水量及びその低減対策	15～17
(4) 大気汚染、生活環境に係る負荷量及びその低減対策	15、18、19
(5) 化学物質の排出量、移動量及びその低減対策	18、19
(6) 廃棄物等総排出量、廃棄物最終処分量及びその低減対策	15、18、20、21
(7) 有害物質等の漏出量及びその防止対策	18、19
4. 生物多様性の保全と生物資源の持続可能な利用の状況	21、22
環境配慮経営の経済・社会的側面に関する状況	
1. 環境配慮経営の経済的側面に関する状況	
(1) 事業者における経済的側面の状況	—
(2) 社会における経済的側面の状況	—
2. 環境配慮経営の社会的側面に関する状況	21～26

